

第69回国際原子力機関（I A E A）総会
一般討論演説

議長、

日本政府を代表して、議長就任をお祝い申し上げます。

広島と長崎で原子爆弾が使用されてから、今年で80年が経ちました。こうした惨禍を決して繰り返してはならず、「核兵器のない世界」に向けた国際社会の取組を主導することは、唯一の戦争被爆国である我が国の使命です。

国際情勢に目を向けると、国際社会の分断は深まり、現下の安全保障環境は一層厳しさを増しています。こうした中、核の不拡散と原子力の平和利用を任務とするI A E Aの役割の重要性は増しています。

【核不拡散等課題への対応】

日本は、重要な核不拡散等の課題に取り組むI A E Aを支援しています。

第一に、日本は、北朝鮮に対して、関連の国連安保理決議に従った、全ての核兵器及び既存の核計画の完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な廃棄を強く求めます。

第二に、日本は、イランの核計画の平和的性質の検証の重要性を強調します。これに関して、I A E Aの関与は不可欠です。重要な局面の中、日本はイランに対して、I A E Aとの完全な協力に応じるよう

求めます。日本は、対話を通じたイラン核問題の解決に向けてあらゆる外交努力を継続します。

第三に、日本は、ザポリジヤ原発を始めウクライナの原子力施設の原子力安全及び核セキュリティを深刻に懸念しています。原子力事故を防ぐべく、7つの柱と5つの原則を遵守することが重要であり、日本はI A E Aの取組を引き続き支援していきます。

【原子力の平和利用と日本の取組】

こうした深刻な課題に直面すると同時に、原子力発電を始めとする原子力技術の平和的利用に対する国際社会のニーズは高まっています。こうした潮流の下、日本は、I A E Aとも緊密に連携しつつ、国内における原子力利用を一層推進するとともに、国際社会におけるその利用の促進に引き続き貢献していきます。

日本国内では、本年2月に公表した第7次エネルギー基本計画に明記されているとおり、安全性の確保を大前提に、脱炭素電源として原子力を最大限活用していきます。また、国際連携の下、次世代革新炉やフュージョンエネルギーの研究開発を推進していきます。

また、我が国は農業、医療など幅広い分野における原子力の平和利用に国内外で取り組んでまいりました。引き続き、我が国が主導するアジア原子力フォーラム（F N C A）の枠組みを含め、国際協力を推進してまいります。

A L P S 処理水の海洋放出は、I A E A の関与の下で行われ、これ

まで計 14 回にわたり、計画通り安全に行われています。これらの海洋放出の安全性は、現行の IAEA によるレビューや、近隣諸国を含む各国の分析機関や国際専門家による拡充された参加の下で実施されている強力なモニタリングを通じて継続的に確認されています。

東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組は、燃料デブリの試験的取出しを含めて、今後、安全かつ着実に廃炉を進めていく上で重要な前進が見られたと受け止めています。

日本は、引き続き、国際社会に対して、科学的根拠に基づき、透明性の高い情報発信や丁寧な説明を継続していくとともに、IAEA によるレビューやモニタリングにしっかりと協力してまいります。

【IAEA の取組への支援】

国際的には、日本は、原子力応用分野における IAEA のイニシアティブを強力に支援しています。先月開催された第 9 回アフリカ開発会議では、その成果文書において、平和的利用と核不拡散における IAEA の重要な役割を確認し、「Rays of Hope」や「Atoms for Food」に焦点を当てた IAEA のサイドイベントも実施されました。日本は、原子力科学技術の振興を通じたアフリカ諸国の持続可能な開発の実現に、引き続き貢献していきます。

原子力の平和的利用にあたり不可欠となる最高水準の 3S、すなわち、原子力安全、核セキュリティ及び保障措置に関しては、日本は、原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター（ISCN）や、福島県の IAEA 緊急時対応能力研修センター（CBC）

等を通じて、東京電力福島第一原子力発電所事故の経験も踏まえつつ、国際的な人材育成・技術開発に努めていきます。

日本は、これらの分野における I A E A の取組を支援するため、昨年度、分担金、技術協力基金に加えて、さらに計約 2 0 0 0 万ユーロの新規拠出を実施しました。

我が国は、責任ある原子力利用国かつ I A E A の指定理事国として、分断を乗り越え、国際協調を促すことで、原子力分野の権威ある国際機関たる I A E A を引き続き支えていきます。

【結語】

最後となりますが、グロッシー事務局長及び I A E A 事務局の皆様への多大なる感謝の意と、I A E A への最大限の支援の継続を改めて表明し、結びとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(了)